

ベートーヴェン：

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲 op.43

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 「皇帝」 op.73

ドヴォルザーク：

交響曲 第9番 ホ短調 「新世界より」 op.95

[指揮] 瀬山智博

[ピアノ] 外山啓介

[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

Tomohiro Seyama
Conductor

21世紀の 新世界

令和初の新年を飾る
ベートーヴェン・イヤーの幕開け!
そして新世界交響曲!!

Keisuke Toyama
Piano

©Yuji Hori

2020 1/11 (土) 2:00pm 開演
(1:00pm 開場)

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込)

ご予約

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30
(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00
(火曜定休)]

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:154-725]

■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:56274]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■E+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ 検索
<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!

ザ・シンフォニーホール 7/28(日)発売

主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

ABC主催コンサート等のイベント情報をご覧ください。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

21世紀の新世界

令和初の新年を飾る
ベートーヴェン・イヤヤーの幕開け！
そして新世界交響曲！！

新年の風物詩となっている「21世紀の新世界」。今回も大阪出身の気鋭のマエストロ=瀬山智博が登壇し、関西フィルハーモニー管弦楽団と共に令和初の新年を彩ります！

2020年は、ベートーヴェン生誕250年のアニバーサリー・イヤー。この記念すべき年を盛り上げるべく、まずはベートーヴェンの数少ないバレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲で活気に満ち溢れる幕開けをお届けします。続いてソリストに登場するのは、このシリーズではすっかりお馴染みのピアニスト外山啓介。今回で4度目を迎えるこの瀬山×外山コンビで、ベートーヴェンのピアノ協奏曲の中でも華やかさと雄大さを誇る、第5番「皇帝」をお贈りします。若い2人の共鳴と調和から生み出される躍動と興奮にご期待ください！

後半は、ドヴォルザークの交響曲 第9番「新世界より」。ドヴォルザークの新世界アメリカでの体験やそこに根付く音楽的精神と、故郷ボヘミアへの望郷の想いとが融合したこの傑作交響曲。現在、音楽の都ウィーンで研鑽を積んでいる瀬山さんと、関西フィルとの年々強固になるタッグで、さらに息の合った「新世界より」を響かせてくれることでしょうか。新時代を担う瀬山さんの「新世界より」で、初めて迎える令和新年の景色を見ませんか。

瀬山智博 [指揮]

Tomohiro Seyama, Conductor

大阪府豊中市出身。3歳よりメキシコで音楽教育を受け始め、大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科を卒業。指揮を湯浅勇治、小澤征爾、ファビオ・ルイジなど各氏に師事。2006年イタリアのシエナ・キジアーナ音楽院にてオーケストラ指揮ディプロマを取得。ウィーン国立音楽大学在籍中にはウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、コレペティートルとしても活動。2009年ドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルを務め、同年ウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。オーストリアのブレゲンツ音楽祭、トリノ王立歌劇場にてアシスタント指揮を務める。2016年ドイツのマグデブルグ市立歌劇場のカペルマイスター（専属指揮者）として活動。その他ドイツのデッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。シカゴのゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。



© Gerhard Peyrer

外山啓介 [ピアノ]

Keisuke Toyama, Piano

札幌市出身。2004年第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ドイツ（ハノーファー音楽演劇大学）留学を経て、11年東京藝術大学大学院を修了。18年第44回「日本ショパン協会賞」受賞。札幌大谷大学芸術学部音楽学科講師。洗足学園音楽大学非常勤講師。07年『CHOPIN:HEROIC』でCDデビュー、サントリーホールをはじめ各地で行われたデビュー・リサイタルが完売となる。その後現在までソロ名義で8枚のCDを発表し、09年『ラフマニノフ』と13年『展覧会の絵』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。14年映画『砂の器』のテーマ曲「宿命」を東京・大阪にて演奏（ライブ録音CD発売）。16年のベルリン交響楽団日本ツアーにソリストとして参加。17年はデビュー10周年記念ツアーを約20か所で開催した。全国各地でのリサイタル・ツアーを毎年実施し、主要オーケストラとの共演も多数あり、その繊細で色彩感豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から高い評価を得ている。最新CDは17年発売の『マイ・フェイヴァリッツ』。



© Yuji Hori

外山啓介公式サイト

<http://www.keisuke-toyama.com>

関西フィルハーモニー管弦楽団 [管弦楽]

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2003年NPO法人化、2014年認定NPO法人化、2018年公益財団法人化。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆へ勇気と感動を与える活動を展開。地域密着の重視など、明確なビジョンで挑戦を続ける個性派楽団として好評を博している。14年10月よりスタートしたBSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜夜11時半）に藤岡幸夫と共に出演中。15年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催し、各地で大きな注目を集めた。



オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaphil.jp/>